

2026年 シラバス

履修規定	必修課目	授業課目	衛生管理（公衆衛生・環境衛生・感染症）
履修学年	1年	コース	理容科・美容科
担当教員	黒木正善	経歴	薬剤師
担当教員		経歴	
授業時間数	48	事業方法及び場所	教室 校内

1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・公衆衛生の成り立ちと理容業、美容業との関連を理解させる。
- ・保健所の業務内容、理容業・美容業との関連を理解させる。
- ・公衆衛生及び環境衛生についての専門的な知識の習得を促すことで、公衆衛生の向上に資する努力義務を理解させる。
- ・国家試験に合格できる学習能力を習得する。

2. 学習内容

- ・衛生管理を学ぶ目的を明確にし、理容・美容の業を通じて公衆衛生の維持、増進への責務の重要性を理解させる。
- ・環境衛生の意義と目的について、理容師、美容師の業務に関連づけて理解させる。

3. 学習方法

- ・各単元（編）において、復習のための「総合学習」を含ませる。
- ・国民の健康を守るために、国が行っている様々な制度について学習する。
- ・講義形式を基本とし、国家試験に向けた演習授業も適宜取り入れる。

4. 学習評価

- ・授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、学期末テスト（70点以上であること）により評価する。
- ・学習態度、提出物、小テストで評価する。

教科書	衛生管理 （日本理容美容教育センター発行）	参考文献 副教材等	オリジナルプリント
-----	--------------------------	--------------	-----------

学習計画

月	学習項目	学習内容・方法
4月	公衆衛生について 公衆衛生の意義と課題 公衆衛生発展の歴史	「衛生管理」の学習目的について理解させる。 「公衆衛生」とは何かを理解させる。 公衆衛生の歩みと発展について学習する。 消毒法に関する歴史の概略を学習する。
5月 6月	理・美容師と公衆衛生 保健所と理・美容業 母子保健 成人・高齢者保健	理・美容師と公衆衛生の関わりを学習する。 保健所の機能と業務について理解させる。 母子、成人、高齢者保健に関わる法律やその内容を学習する。 出生率・死亡率・平均寿命の推移を資料に基づいて学習する。
7月	生活習慣病とその対策 精神保健	近年の生活習慣病の実態と対策について学習する。 わが国の予防対策の重要性を理解させる。 「心の健康づくり」について学習する。 <p style="text-align: right;">学期末テスト</p>
9月 10月 11月	環境衛生の概要 空気環境 衣服・住居の衛生 上下水道と廃棄物	環境要因・目的と意義・環境衛生活動について理解させる。 自然環境要因である空気と人の健康について 上水道が国民の健康水準の向上に大きく貢献して いることを理解させる。 下水・廃棄物の適切な処理システムについて学習する。
12月	衛生害虫とネズミ 環境保全	理・美容所においては特に注意が必要であることを理解させる。 環境基本法における国民の義務と理・美容師の役割に ついて理解させる。 <p style="text-align: right;">学期末テスト</p>
1月	総合学習	公衆衛生学・環境衛生学まとめ ワークブック活用
2月 3月	感染症の総論 人と感染症 病原微生物	感染症について理解させる。 感染症の歴史、分類、法律について学習する。 オリジナルプリントの活用 <p style="text-align: right;">学期末テスト</p>